

# 三陸新報

三陸新報社  
〒988-0141  
気仙沼市松崎柳沢228-100  
電話 0226(22)6700代  
FAX 0226(23)6100  
URL <http://www.sanrikushimpo.co.jp/>  
e-mail [news@sanrikushimpo.co.jp](mailto:news@sanrikushimpo.co.jp)  
© 三陸新報社 2019年

購読・配達  
ペーパータイム  
TEL 0226-24-5566  
0120-100-4500  
本吉営業所  
TEL 0226-31-4756

果たそう  
復興

# カツオ日本一 23年連続が确实



終盤に入ったカツオの水揚げ

## 房州勝浦と7千トン差

### 逆転の可能性極めて低く

気仙沼港

生鮮カツオの水揚げ量で、気仙沼魚市場の23年連続日本一がほぼ確実となった。トップの気仙沼は2位の房州勝浦(千葉)に約7千トンの差をつけており、過去のデータからも今後、勝浦が逆転する可能性は極めて低い。一本釣りの操業は終盤に入っており、漁がどれだけ続くかが最大の関心事だ。

## 関係者「一日も長く操業を」

気仙沼漁協や漁業情報サービスセンターによると、15日現在の一本釣り、巻き網船を合わせた気仙沼の水揚げ量は1万8270トン(前年同期比0・8%減)。勝浦は1万1220トンで、その差は7050トンまで広がった。今月は気仙沼の約800トンに対し、勝浦はわずかに70トン。昨シーズンの勝浦は10、11月を合わせても2000トンに届いていないほか、過去のデータからも追い抜くのは難しく、気仙沼の連続日本一はほぼ間違いない状況だ。

水揚げ量の内訳は、一本釣り船が1万3198トン(前年同期比13%減)と7割を占め、

## 町道89カ所に被害

### 台風19号 町が議会へ報告

南三陸

南三陸町議会の全員協議会が16日、町役場で開かれ、記録的な大雨をもたらした台風19号の被害概況について、町当局から報告があった。住宅、店舗合わせて約30件の浸水被害があったほか、町道は約60路線で被災。被害額を含めて今後もしっかりと調査を継続する方針が示された。

## 被害額は約

気仙沼市 今後増  
16日現在

気仙沼市は16日現在、台風19号の被害状況をまとめた。住居や事業所の床上、床下を合わせた浸水被害は81件、

巻き網船は5071トン(同56・3%増)と大きく貢献している。気仙沼は今シーズン、5月に巻き網船が計1222トンを水揚げした後は、群れの北上が大幅に遅れた影響で、7月1日に一本釣りが初入港するまで、1カ月半も水揚げが途切れるという異例のスタートとなった。

前半は、漁場が近かった勝浦に6月末時点で9千トン近くも差をつけられたが、三陸沖まで北上した7月以降は、一気に数量を伸ばして猛追。8月27日には昨年より1カ月ほど遅れて勝浦を追い抜き、首位を独走してきた。年々漁期が早まっているカツオ漁は、この数年、10月いっぱいではほぼ終漁。現在は一本釣り船中心の操業だが、台風19号の通過後は群れが薄くなった上に、餌となるカタクチイワシも定置網で不足しており、どこまで上積みできるか関心が高まっている。

気仙沼漁協は「一本釣り船には一日でも長く操業、水揚げしてもらいたい、何とか前年並みの数量(1万9100トン)を確保したい」と話している。

まで北上した7月以降は、一気に数量を伸ばして猛追。8月27日には昨年より1カ月ほど遅れて勝浦を追い抜き、首位を独走してきた。年々漁期が早まっているカツオ漁は、この数年、10月いっぱいではほぼ終漁。現在は一本釣り船中心の操業だが、台風19号の通過後は群れが薄くなった上に、餌となるカタクチイワシも定置網で不足しており、どこまで上積みできるか関心が高まっている。